

施策 No.5 健康づくりの推進										基本計画 掲載頁	68～69
総合評価	B：順調に進捗した	今後の 方向性	Ⅱ：一部見直し等 の余地がある	施策展開の評価数	A	0	B	3	C	0	
				(参考)事務事業評価の実施状況	A	0	B	1	C	0	
成果	健康教室や幼児及び親子に対する食育を通じ、市民の生活習慣病の予防と健康の保持増進を図ることができた。また、令和7年度を始期とする(計画期間は令和18年度までの12年間)第3次新座市健康づくり行動計画、第2次新座市食育推進計画、第2次新座市歯科口腔保健推進計画が一体となった第3次いきいき新座21プランを策定することができた。			成果・課題を 踏まえた今後 の対応方針	おおむね現状のまま継続していく。 また、規模を縮小していた講座(ココカラダ・プログラム)については、カリキュラムや開催回数を見直し改善を図る。 いきいき新座21プランについては、計画の推進状況を毎年確認していく。						
課題	新型コロナウイルス感染症流行下では中断していた事業を、感染症対策を施した上で規模を縮小し再開したため、事業の完全再開に向けた検討を進めていく必要がある。										

主な施策展開の進捗状況（定性的な評価）

【評価の基準】 A：想定以上に進捗した B：順調に進捗した C：進捗が遅れた

(1)	健康づくりの推進	評価	主な取組実績・評価理由(※評価「C」とした場合、課題とその対応方針も記載)	所管課
1	市民が健康に対する正しい知識を持ち、自ら積極的に身体及び心の健康づくりを実践していくことができるよう、健康教室の開催や、健康の保持増進及び生活習慣病に関する知識の普及啓発、情報提供を行います。	B	・働き盛り世代及び子育て世代を対象としたココカラダ・プログラム(各回のテーマに沿った体操と栄養講話)を年3回開催した。 ・ゲートキーパー養成講座を開催し、ホームページや広報を通じて健康に関する知識の普及啓発を行った。	保健センター
2	市民が食育活動を実践できるよう、地域、関係団体と連携し、食育を推進します。	B	・十文字学園女子大学との連携:健康まつりにおいて十文字学園女子大学学生が市民向けに作成した食事にに関するリーフレットを配布した。 ・にいがた食育推進リーダーの活動支援:子ども向けの料理イベントを夏休み期間中及び健康まつりで開催し、新座産の野菜を使用するレシピの考案・試作を支援した。 ・農産物直売所の協力を得て直売所でのレシピの掲示及び配布を実施した。 ・食育紙芝居、パネルシアターの公演を健康まつりで実施した。	保健センター
3	市民の健康づくり活動を行う団体やグループの支援に努めます。	B	・食を通じての健康づくりを担っている新座市食生活改善推進員協議会の定例会開催及び市民向けの料理講習会実施にむけた支援を行った。 ・食育を推進する活動を実践しているにいがた食育推進リーダーの定例会開催及び子ども向け料理イベント実施に向けた支援を行った。 ・野菜レシピ試作及び農産物直売所でのレシピ掲示・配布に向けた支援を行った。 ・食育紙芝居、パネルシアター実施に向けた支援を行った。	保健センター

施策のK P I（重要業績評価指標）

【達成度の基準】 A：目標を上回るペースの指標値 B：目標値を達成するペースの指標値 C：目標を下回る指標値

[illegible]